

12月
にんじん

板橋ふれあい農園会給食だより

「板橋ふれあい農園会」とは、板橋区で農産物を作っている区内の農家の方の会です。学校に新鮮で安全な野菜などを届けてくださいます。

今回お届けする「にんじん」は山口賢治さん、春日喜一さん、染宮利章さん、木村繁夫さん、田中耕太郎さん、濱中洋子さん、君島典子さんを中心に作っていただきました。

にんじんの栽培方法について

1 耕^{こう}うん（7月）

にんじんの根が育つ方向に、土の塊や石などのかたいものがあると根が分かれてしまいます。それを防ぐために、機械で土をやわらかくし、石などを取り除きます。



種をまく機械

2 種まき（7月下旬～8月上旬）

約 10cm 間隔で、1つの穴に3粒ずつ、種をまきます。

にんじんの発芽には水分が必要なので、発芽するまでは毎日、朝と夕方の2回たっぷりと水やりをします。



3 発芽（種まきから7～10日後）

4 間引き（9月上旬）

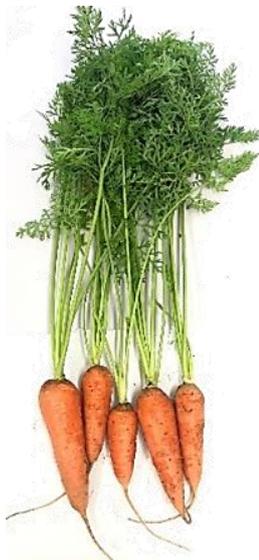
3粒種をまいたうち、丈夫な芽を1つ選んで、他の芽を抜きます。これを「間引き」といいます。

5 土寄せ（9月中旬）

根元が土より上に出ないように、土を寄せかけます。これを「土寄せ」といいます。土寄せにより、日が当たって根の水分が抜けて固くなったり、色が変わったりすることを防ぎます。

6 収穫（11月）（種まきから約100日後）

毎日雑草を取ったり、虫がついていないか確認したりしながら育てます。収穫の頃には、根は長さ約25cmまで成長します。



今年は種まき後に大雨が降った影響で、種が流されてしまい、種をまき直した畑もあったっちい…

板橋ふれあい農園会のみなさんが苦勞して育ててくれたにんじんだっちい！

感謝の気持ちをもって、味わってほしいっちい♪



板橋区食育キャラクター
「いたばちい」